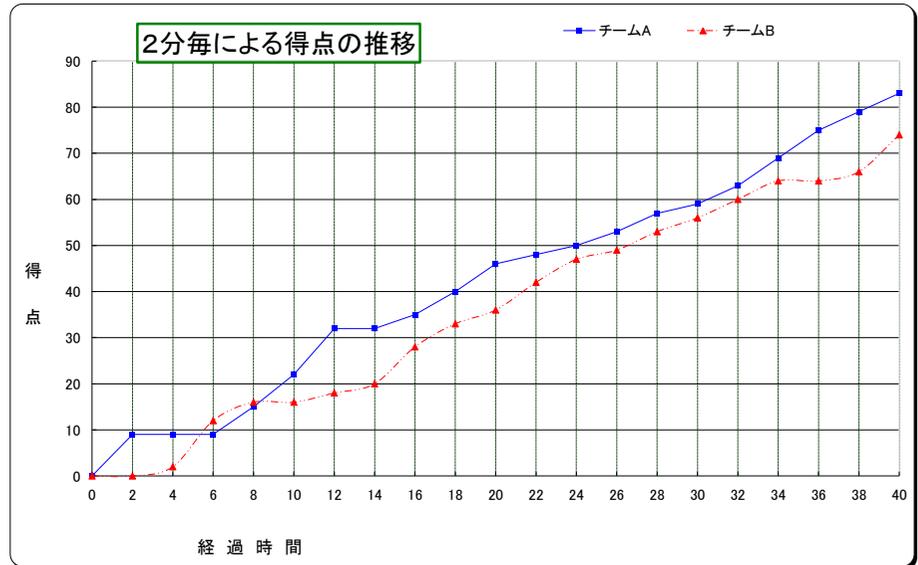


平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月4日(土)
本庄シルクドーム
Bブロック1回戦

チームA	83	{	22	1st	16	}	74	24	2nd	20
八千代松陰 (千葉)			13	3rd	20			24	4th	18



番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	寺迫 修平	25	3	6	7	8	2	2	1	1	7	2	3	1	2
5	大谷 鴻介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6	小林 雄吾	18	0	1	9	13	0	0	1	5	2	3	4	1	2
7	倉野 峻輔	5	1	4	1	7	0	0	0	2	0	0	0	0	3
8	福井 達登	6	0	0	2	9	2	2	3	2	4	0	2	1	3
9	アハマード スイナ	6	0	0	2	6	2	4	2	3	2	0	0	0	2
10	岩崎 蓮	0	0	2	0	1	0	0	1	0	2	2	0	0	4
11	小林 大樹	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
12	芦澤 仁貴	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	深澤 卓	8	0	0	3	6	2	2	1	0	0	1	2	0	1
14	木村 悠登	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
15	小比類巻千寛	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
16	松岡 海輝	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	工藤 貴哉	9	0	2	3	6	3	4	3	1	9	1	2	1	0
18	磯脇 佑真	4	0	1	1	2	2	2	0	0	0	1	1	0	0
コーチ	堀田 貴司														0
		83	4	17	29	63	13	16	13	14	30	10	15	5	17
		確率	23.5%		46.0%		81.3%		計		44				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	渡辺 捺暉	16	1	8	5	9	3	4	1	3	4	1	2	0	4
5	渡邊 耕大	2	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
6	梶原 拓海	8	0	1	4	9	0	0	2	4	3	0	0	0	4
7	高松 春	0													
8	山田 隆誠	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	坂本 涼太	20	6	26	0	0	2	2	1	1	1	3	0	0	0
10	星野 隼人	10	0	1	4	13	2	4	3	3	4	0	1	0	4
11	中澤 海斗	10	2	5	2	4	0	0	2	5	2	5	4	0	1
12	日原 翔夢	4	0	0	2	4	0	0	1	0	0	1	0	1	2
13	矢崎 正広	0													
14	高山 歳也	0													
15	鈴木 詩琉	2	0	0	0	3	2	2	3	0	1	0	1	0	1
16	野村 拓矢	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0	1	0	1
17	今村 統希	0													
18	佐野 楓	0													
コーチ	吉川 仁														
		74	9	44	19	47	9	12	15	16	17	10	11	1	17
		確率	20.5%		40.4%		75.0%		計		33				

戦評

第1P 両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタートする。八千代が#4の3P、レイアップシュートで一気にリードを広げる。市川はたまたずタイムアウトを取り立て直しを図る。市川の#4のシュートを軸に攻撃のリズムを取り戻し、一進一退の攻防が続く。八千代が高さを生かしたインサイド攻撃が功を奏しリードする。

第2P 八千代は#4、#8のインサイドシュートを軸に攻撃を組み立てる。市川もドライブイン、外角シュートを中心に攻めるが八千代の攻撃を止められず、12点差まで点差が開く。市川がタイムアウトを取り、#10のインサイド、#9の3Pで追いつける。お互いにミスが多い中、八千代は#4の3P、#6のオフenseリバウンドシュートが決まり、10点リードで前半を終える。

第3P 八千代がインサイドを中心の攻撃を軸に早い展開での攻撃を行うがミスが多くリードを広げることができない。市川は#4を軸にした粘りのあるしつこいディフェンスからの攻撃を行い、追いつけを図る。八千代のミスもあり、市川が3点差まで追いつける。

第4P 互角の試合展開になるが、中盤八千代が相手のミスから速攻に転じ、#4の4本連続シュートでリードを広げる。市川がタイムアウトを取り、流れを切ろうとするが、八千代のオールコートでの2-2-1ゾーンプレスで流れを渡さない。残り2分#13のシュートが決まり、試合を決定づける。インサイドに勝る八千代が2回戦進出を決めた。

記録者 清野 豊

主審 川津 太志 副審 西村 紘一良